

(記載例) 瀬戸内海環境保全特別措置法に  
基づく事前評価に関する書面

平成 ○年 ○月 ○日

↑  
提出する日付を記入します。

申請人の氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名

○○市○○町○○番地○  
○○株式会社 代表取締役○○○○ ㊟

工場又は事業場の名称及び所在地

1. 許可申請の概要

(1) 特定施設設置（変更）の理由及び内容

マンションの建設に伴い、600人槽の浄化槽を設置する。

(2) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少（変わらず）の場合、その理由

2. 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

(1) 別図〇のとおり

(2) 排水系統及び排水経路の略図

生活雑排水→浄化槽→No. 1排水口→水路→△△川→瀬戸内海

雨水→No. 2排水口

3. 工場又は事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大の値、当該排出水の1日当たりの通常値及び最大の値並びに当該排出水の汚濁負荷量

排水口		現 状			設置（変更）後			負荷量の増減
		通常	最大	※負荷量	通常	最大	※負荷量	
N o 1	排水量 (m <sup>3</sup> /日)				120	120	-	-
	pH				7.0	6.1~8.2	-	-
	BOD (mg/L)				10	15	1.2	+1.2
	COD (mg/L)				15	20	1.8	+1.8
	SS (mg/L)				30	40	3.6	+3.6
	T - N (mg/L)				10	10	1.2	+1.2
	T - P (mg/L)				1.0	1.0	0.12	+0.12
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)				5.0	10	0.6	+0.6
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )				0	3000	-	-
	アンモニア等(mg/L) NO <sub>2</sub> +NO <sub>3</sub> +0.4NH <sub>4</sub>				6.0	6.0	0.72	+0.72
N o 2	雨水専用の場合はその旨を記載してください。				雨水専用			
合 計	排水量 (m <sup>3</sup> /日)				120	120	-	-
	pH				-	-	-	-
	BOD (mg/L)				-	-	1.2	+1.2
	COD (mg/L)				-	-	1.8	+1.8
	SS (mg/L)				-	-	3.6	+3.6
	T - N (mg/L)				-	-	1.2	+1.2
	T - P (mg/L)				-	-	0.12	+0.12
	n-ヘキサン抽出物質 (mg/L)				-	-	0.6	+0.6
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )				-	-	-	-
アンモニア等(mg/L) NO <sub>2</sub> +NO <sub>3</sub> +0.4NH <sub>4</sub>				-	-	0.72	+0.72	

(注) 負荷量 (kg/日) = 最大排水量 (m<sup>3</sup>/日) × 通常水質 (mg/L) × 10<sup>-3</sup>

4. 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

(1) 人の健康の保護に関する環境基準

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.003 mg/L 以下	1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L 以下
全シアン	検出されないこと	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L 以下
鉛	0.01 mg/L 以下	トリクロロエチレン	0.01 mg/L 以下
六価クロム	0.05 mg/L 以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/L 以下
砒素	0.01 mg/L 以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L 以下
総水銀	0.0005 mg/L 以下	チウラム	0.006 mg/L 以下
アルキル水銀	検出されないこと	シマジン	0.003 mg/L 以下
PCB	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02 mg/L 以下
ジクロロメタン	0.02 mg/L 以下	ベンゼン	0.01 mg/L 以下
四塩化炭素	0.002 mg/L 以下	セレン	0.01 mg/L 以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L 以下	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L 以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L 以下	ふっ素	0.8 mg/L 以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L 以下	ほう素	1 mg/L 以下
		1,4-ジオキサン	0.05 mg/L 以下

(注) 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。

詳細は環境指導課に確認してください。

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

排出先の河川、海域名	△△川	瀬戸内海(備讃瀬戸)	
環境基準点	△△橋	〇〇湾	
環境基準類型	B類型	A類型	
基準値	水素イオン濃度	6.5~8.5	7.8~8.3
	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	3 以下	-
	化学的酸素要求量 (mg/L)	-	2 以下
	浮遊物質 (mg/L)	25 以下	-
	溶存酸素量 (mg/L)	5 以上	7.5 以上
	大腸菌群数 (MPN/100mL)	5000 以下	1000 以下
	n-ヘキサン抽出物質含有量 (mg/L)	-	検出されないこと
	全窒素 (mg/L)	-	0.3 以下
	全リン (mg/L)	-	0.03 以下

(3) その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

①ダイオキシン類対策特別措置法に基づく環境基準

媒体	基準値
水質 (水質の底質を除く。)	1 pg-TEQ/L 以下

②その他

特になし

5. 周辺公共用水域の水質の現況及び排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

(1) 海域（採水地点は別図○のとおり）

採水機関名	〇〇株式会社	分析機関名	〇〇株式会社
-------	--------	-------	--------

測定地点：r/3													
水質の現況	採水月日	時刻・干満	採水部位	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	nHE (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	
	○ 月 ○ 日	11:18 満潮	表層	8.0	1.5	<1	0.23	0.012	6.6	<0.5	9.7	0.10	
			中層	8.2	2.3	4	0.33	0.046	9.7	<0.5	11.3	0.10	
			平均	8.1	1.9	3	0.28	0.029	8.2	<0.5	10.5	0.10	
		14:30 引き潮	表層	7.9	1.4	<1	0.38	0.008	6.2	<0.5	7.6	<0.02	
			中層	8.2	2.4	4	0.36	0.055	9.6	<0.5	9.8	0.08	
			平均	8.1	1.9	3	0.37	0.032	7.9	<0.5	8.7	0.05	
		17:29 干潮	表層	7.9	1.5	<1	0.29	0.011	5.8	<0.5	10.3	<0.02	
			中層	8.3	2.0	5	0.30	0.043	9.8	<0.5	8.2	0.04	
			平均	8.1	1.8	3	0.30	0.027	7.9	<0.5	9.3	0.03	
			表層										
			中層										
			平均										
		表層											
		中層											
		平均											
		表層											
		中層											
		平均											
総平均				8.1	1.9	3	0.32	0.029	8.0	<0.5	9.5	0.06	
将来水質				-	1.73	2.06	0.28	0.023	-	-	-	0.04	

採水機関名	〇〇株式会社	分析機関名	〇〇株式会社
-------	--------	-------	--------

測定地点：2r/3													
水質の現況	採水月日	時刻・干満	採水部位	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	nHE (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)	
	〇 月 〇 日	11:18 満潮	表層	7.8	1.5	3	0.20	0.022	8.7	<0.5	7.8	0.08	
			中層	8.0	1.7	5	0.28	0.036	10.7	<0.5	10.4	0.04	
			平均	7.9	1.6	4	0.24	0.029	9.7	<0.5	9.1	0.06	
		14:30 引き潮	表層	8.0	1.8	2	0.27	0.019	9.4	<0.5	9.5	<0.02	
			中層	8.1	2.0	<1	0.21	0.030	9.8	<0.5	11.1	0.05	
			平均	8.1	1.9	2	0.24	0.025	9.6	<0.5	10.3	0.04	
		17:29 干潮	表層	8.1	1.2	4	0.25	0.016	7.4	<0.5	8.3	0.07	
			中層	8.1	1.9	3	0.30	0.023	8.1	<0.5	9.7	0.04	
			平均	8.1	1.6	4	0.28	0.020	7.8	<0.5	9.0	0.06	
			表層										
			中層										
			平均										
		表層											
		中層											
		平均											
		表層											
		中層											
		平均											
		表層											
		中層											
		平均											
総平均				8.0	1.7	5	0.25	0.025	9.0	<0.5	9.5	0.05	
将来水質				-	1.71	2.02	0.27	0.022	-	-	-	0.03	

採水機関名	〇〇株式会社	分析機関名	〇〇株式会社
-------	--------	-------	--------

測定地点：r												
水質の現況	採水月日	時刻・干満	採水部位	pH	COD (mg/L)	SS (mg/L)	T-N (mg/L)	T-P (mg/L)	DO (mg/L)	nHE (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/L)
	〇月〇日	11:18 満潮	表層	8.1	1.6	1	0.14	0.019	9.3	<0.5	7.8	0.04
			中層	8.0	1.7	1	0.28	0.022	10.9	<0.5	9.4	0.03
			平均	8.1	1.7	1	0.21	0.021	10.1	<0.5	8.6	0.04
	〇月〇日	14:30 引き潮	表層	7.9	1.7	2	0.27	0.015	9.5	<0.5	10.2	<0.02
			中層	8.0	1.9	<1	0.30	0.024	10.3	<0.5	9.6	<0.02
			平均	8.0	1.8	2	0.29	0.020	9.9	<0.5	9.9	0.02
	〇月〇日	17:29 干潮	表層	8.1	1.3	<1	0.21	0.023	8.9	<0.5	8.7	0.05
			中層	8.2	1.6	2	0.33	0.018	9.6	<0.5	9.1	0.03
			平均	8.2	1.5	2	0.27	0.021	9.3	<0.5	8.9	0.04
総平均			8.1	1.7	2	0.26	0.021	9.8	<0.5	9.1	0.03	
将来水質			-	1.70	2.00	0.26	0.021	-	-	-	0.03	

## (2) 河川 (採水地点は別図○のとおり)

採水機関名	〇〇株式会社	分析機関名	〇〇株式会社
-------	--------	-------	--------

水域 (河川) 名		〇〇川					測定地点名		放流直下				
水質 の 現 況	採水日	時刻	流量 ( $\text{m}^3/\text{日}$ )	pH	BOD ( $\text{mg/L}$ )	COD ( $\text{mg/L}$ )	SS ( $\text{mg/L}$ )	T-N ( $\text{mg/L}$ )	T-P ( $\text{mg/L}$ )	DO ( $\text{mg/L}$ )	nHE ( $\text{mg/L}$ )	大腸菌群数 (MPN/100mL)	硝酸性窒素 及亜硝酸 性窒素 ( $\text{mg/L}$ )
	水 質 の 現 況	〇月 〇日	9:45	1500	7.6	10	20	8	3.2	0.27	7.1	0.8	9700
12:30			1300	7.6	9.0	16	9	3.8	0.27	8.0	<0.5	9800	1.9
15:30			2000	7.3	23	66	10	3.2	0.24	7.6	<0.5	9000	2.1
平均			1600	7.5	14	34	9	3.4	0.26	7.6	0.6	9500	2.0
〇月 〇日		10:10	2200	7.5	14	22	24	4.2	0.65	6.8	<0.5	9300	1.8
		13:37	2000	7.6	16	18	10	4.2	0.95	7.6	0.6	9300	2.2
		15:22	1800	7.6	12	20	8	6.0	2.00	7.7	0.7	9400	2.0
		平均	2000	7.6	14	20	14	4.8	1.20	7.2	0.6	9500	2.0
総平均		1800	7.6	14	27	12	4.1	0.73	7.4	0.6	9500	2.0	
将来水質		-	-	14	26	13	4.5	0.75	-	-	-	-	

水域 (河川) 名		△△川					測定地点名		△△川合流地点				
水質 の 現 況	採水日	時刻	流量 ( $\text{m}^3/\text{日}$ )	pH	BOD ( $\text{mg/L}$ )	COD ( $\text{mg/L}$ )	SS ( $\text{mg/L}$ )	T-N ( $\text{mg/L}$ )	T-P ( $\text{mg/L}$ )	DO ( $\text{mg/L}$ )	nHE ( $\text{mg/L}$ )	大腸菌群数 (MPN/100mL)	硝酸性窒素 及亜硝酸 性窒素 ( $\text{mg/L}$ )
	水 質 の 現 況	〇月 〇日	10:50	18000	7.7	1.5	5.2	2	1.4	0.19	5.2	<0.5	4700
12:53			17000	8.0	1.9	5.4	2	1.4	0.20	6.0	<0.5	4800	1.6
15:45			16000	7.9	2.0	6.2	2	1.7	0.21	5.3	<0.5	5500	1.5
平均			17000	7.9	1.8	5.6	2	1.5	0.20	5.5	<0.5	5000	1.6
〇月 〇日		10:30	16000	8.0	1.7	4.8	3	1.7	0.30	5.5	<0.5	4700	1.5
		13:59	8700	8.0	1.8	5.5	4	2.1	0.32	5.1	<0.5	4800	1.6
		16:10	11000	7.9	1.9	6.5	5	2.2	0.34	5.4	<0.5	5500	1.7
		平均	11900	8.0	1.8	5.6	4	2.0	0.32	5.3	<0.5	5000	1.6
総平均		14450	8.0	1.8	5.6	3	1.8	0.26	5.4	<0.5	5000	1.6	
将来水質		-	-	1.9	5.7	3.2	1.9	0.27	-	-	-	-	



(3) その他当該水域に関する事項

(4) 予測の方法

① 汚濁負荷量の増加の有無 (有)・無

(ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は②以下は省略する。)

② 排出水の公共用水域での影響範囲

③ 予測の手法 (海域)

(a) 新田式 ( $\log(r^2\theta/2) = 1.226\log Q + 0.086$ ) から求めた周辺公共用水域の外縁までの距離 (r) は 16 m です。

(注)  $\theta = \pi$  (拡散角度: ラジアン)

$Q = 120$  m<sup>3</sup>/日 (最大排水量)

(b) ヨーゼフ・ゼンドナー式 ( $C = 1 - \exp\left\{-\frac{Q_0}{\theta dp}\left(\frac{1}{x} - \frac{1}{l}\right)\right\}$ ) から求めた希釈率 (C) は

次のとおりです。

$C$  ( r / 3 の地点) = 0.00230

$C$  ( 2 r / 3 の地点) = 0.000628

$C$  ( r の地点) = 0

(注)  $Q_0 = 120$  m<sup>3</sup>/日 (最大排水量)

$\theta = \pi$  (拡散角度)

$d = 2$  m

$p = 864$  m/日

$x = 6$  m、 $11$  m ( r / 3、2 r / 3 の距離)

$l = 16$  m ( r の距離)

(c)  $S' = S_1 + (S_0 - S_1) \cdot C$  から将来の水質を予測する。

ただし、

$S'$  : 測定地点付近の将来水質

$S_1$  : 周辺公共用水域の外縁直近の外側の測定地点の現況水質

$S_0$  : 周辺公共用水域の範囲の決定に用いた排水水質の平均値

$C$  : 希釈率

( $r/3$ の地点)

$$S'(\text{COD}) = 1.7 + (15 - 1.7) \times 0.00230 = 1.73$$

$$S'(\text{S S}) = 2 + (30 - 2) \times 0.00230 = 2.06$$

$$S'(\text{T-N}) = 0.26 + (10 - 0.26) \times 0.00230 = 0.28$$

$$S'(\text{T-P}) = 0.021 + (1.0 - 0.021) \times 0.00230 = 0.023$$

$$S'(\text{アンモニア等}) = 0.03 + (6 - 0.03) \times 0.00230 = 0.044$$

( $2r/3$ の地点)

$$S'(\text{COD}) = 1.7 + (15 - 1.7) \times 0.000628 = 1.71$$

$$S'(\text{S S}) = 2 + (30 - 2) \times 0.000628 = 2.02$$

$$S'(\text{T-N}) = 0.26 + (10 - 0.26) \times 0.000628 = 0.27$$

$$S'(\text{T-P}) = 0.021 + (1.0 - 0.021) \times 0.000628 = 0.022$$

$$S'(\text{アンモニア等}) = 0.03 + (6 - 0.03) \times 0.000628 = 0.034$$

( $r$ の地点)

$$S'(\text{COD}) = 1.7 + (15 - 1.7) \times 0 = 1.70$$

$$S'(\text{S S}) = 2 + (30 - 2) \times 0 = 2.00$$

$$S'(\text{T-N}) = 0.26 + (10 - 0.26) \times 0 = 0.26$$

$$S'(\text{T-P}) = 0.021 + (1.0 - 0.021) \times 0 = 0.021$$

$$S'(\text{アンモニア等}) = 0.03 + (6 - 0.03) \times 0 = 0.030$$

④ 予測の手法（河川）

$$S' = \frac{S \cdot Q + (S_0 Q_0 - S'_0 Q'_0)}{Q + (Q_0 - Q'_0)} \text{ から将来の水質を予測する。}$$

ただし、

$S'$  : 測定地点付近で排水と河川水が十分に混合したと仮定したときの将来水質

$S$  : 測定地点付近の現況水質

$Q$  : 測定地点付近の流量（低水量時）

$S_0$  : 新規に増大する排水量を含む、当該特定事業場からの全排水の水質平均値

$Q_0$  : 新規に増大する排水量を含む、当該特定事業場からの全排水量

$S'_0$  : 現状での当該特定事業場からの全排水の水質平均値

$Q'_0$  : 現状での当該特定事業場からの全排水量

地点名（ 放流直下 ）

$$S' \text{ (BOD)} = \frac{14 \times 1800 + (10 \times 120 - 0)}{1800 + (120 - 0)} = 13.75$$

$$S' \text{ (COD)} = \frac{27 \times 1800 + (15 \times 120 - 0)}{1800 + (120 - 0)} = 26.25$$

$$S' \text{ (S S)} = \frac{12 \times 1800 + (30 \times 120 - 0)}{1800 + (120 - 0)} = 13.13$$

$$S' \text{ (T - N)} = \frac{4.1 \times 1800 + (10 \times 120 - 0)}{1800 + (120 - 0)} = 4.469$$

$$S' \text{ (T - P)} = \frac{0.73 \times 1800 + (1.0 \times 120 - 0)}{1800 + (120 - 0)} = 0.747$$

地点名（ △△川合流地点 ）

$$S' \text{ (BOD)} = \frac{1.8 \times 14450 + (10 \times 120 - 0)}{14450 + (120 - 0)} = 1.868$$

$$S' \text{ (COD)} = \frac{5.6 \times 14450 + (15 \times 120 - 0)}{14450 + (120 - 0)} = 5.677$$

$$S' \text{ (S S)} = \frac{3 \times 14450 + (30 \times 120 - 0)}{14450 + (120 - 0)} = 3.222$$

$$S' \text{ (T - N)} = \frac{1.8 \times 14450 + (10 \times 120 - 0)}{14450 + (120 - 0)} = 1.868$$

$$S' \text{ (T - P)} = \frac{0.26 \times 14450 + (1.0 \times 120 - 0)}{14450 + (120 - 0)} = 0.266$$

6. その他、特定施設の設置等が環境に及ぼす影響についての事前評価に関し、参考となるべき事項